

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公開番号】特開 2004-54909 (P2004-54909A)  
 【公開日】平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-007  
 【出願番号】特願 2003-146793 (P2003-146793)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F      3/12      (2006.01)**

**B 4 1 J      29/38      (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F      3/12      D

B 4 1 J      29/38      Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 7 月 5 日 (2006.7.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置において、前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定手段と、前記設定手段で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断手段と、

前記判断手段により代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理手段とを備え、

前記設定手段により設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断手段は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 プリントドライバにより生成される印刷ジョブを入力して管理する物理プリンタ管理手段を更に備え、

前記設定手段は、前記物理プリンタ管理手段に対して前記代行条件を設定し、前記代行処理手段は、前記物理プリンタ管理手段に設定され且つ前記物理プリンタ管理手段に入力される印刷ジョブに対応付けられた代行条件を管理することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記代行処理手段は、前記プリントドライバに対応する印刷装置と同じ機種 of 印刷装置に代行印刷すべく印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】 アプリケーションが出力する描画命令に基づいて印刷装置に依存しない汎用ドキュメントデータを含む汎用印刷ファイルを生成する仮想プリントドライバ手段と、

前記仮想プリントドライバにより生成される汎用印刷ファイルを入力して管理する論理プリンタ管理手段とを更に備え、

前記設定手段は、前記論理プリンタ管理手段に対して前記代行条件を設定するものであり、

前記代行処理手段は、前記論理プリンタ管理手段に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理手段に設定された代行条件を管理することを

特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 5】 前記代行処理手段は、最初に出先として指定される印刷装置とは依存関係のない複数の印刷装置のいずれかに代行印刷すべく前記汎用印刷ファイルの印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 6】 前記代行処理手段は、代行印刷を行う場合に、論理プリンタ管理手段に管理されている汎用印刷ファイルに基づいて代行出力先のプリンタドライバに対して描画命令の出力を行うことを特徴とする請求項 5 記載の情報処理装置。

【請求項 7】 前記設定手段は、前記論理プリンタ管理手段に設定される代行条件として、自動で代行処理を行う自動代行条件と、自動で代行処理を行わずユーザからの指示に応じて代行処理を行う手動代行条件とを設定するものであり、

前記代行処理手段は、前記論理プリンタ管理手段に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理手段に設定された自動代行条件と手動代行条件とを管理することを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 8】 複数の印刷装置と、該印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置を含む印刷システムにおいて、

前記情報処理装置に、

前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定手段と、

前記設定手段で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断手段と、

前記判断手段により代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理手段とを備え、

前記設定手段により設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断手段は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする印刷システム。

【請求項 9】 印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置の印刷制御方法であって、

前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定工程と、

前記設定工程で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断工程と、

前記判断工程で代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理工程とを含み、

前記設定工程で設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断工程は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 10】 前記設定工程は、プリンタドライバにより生成される印刷ジョブを入力して管理する物理プリンタ管理部に対して前記代行条件を設定し、前記代行処理工程は、前記物理プリンタ管理部に設定され且つ前記物理プリンタ管理部に入力される印刷ジョブに関連付けられた代行条件を管理することを特徴とする請求項 9 記載の印刷制御方法。

【請求項 11】 前記代行処理工程は、前記プリンタドライバに対応する印刷装置と同じ機種の印刷装置に代行印刷すべく印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 10 記載の印刷制御方法。

【請求項 12】 アプリケーションが出力する描画命令に基づいて印刷装置に依存しない汎用ドキュメントデータを含む汎用印刷ファイルを生成する生成工程を更に含み、

前記設定工程は、前記生成工程により生成される汎用印刷ファイルを入力して管理する論理プリンタ管理部に対して前記代行条件を設定するものであり、前記代行処理工程は、

前記論理プリンタ管理部に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理部に設定された代行条件を管理することを特徴とする請求項 9 記載の印刷制御方法。

【請求項 13】 前記代行処理工程は、最初に出先として指定される印刷装置とは

依存関係のない複数の印刷装置のいずれかに代行印刷すべく前記汎用印刷ファイルの印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 1 2 記載の印刷制御方法。

【請求項 1 4】 前記代行処理工程は、代行印刷を行う場合に、論理プリンタ管理部に管理されている汎用印刷ファイルに基づいて代行出力先のプリンタドライバに対して描画命令の出力を行うことを特徴とする請求項 1 3 記載の印刷制御方法。

【請求項 1 5】 前記設定工程は、前記論理プリンタ管理部に設定される代行条件として、自動で代行処理を行う自動代行条件と、自動で代行処理を行わずユーザからの指示に応じて代行処理を行う手動代行条件とを設定するものであり、前記代行処理工程は、前記論理プリンタ管理部に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理部に設定された自動代行条件と手動代行条件とを管理することを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 4 のいずれかに記載の印刷制御方法。

【請求項 1 6】 印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置で実行可能な印刷制御プログラムであって、

前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定工程と、

前記設定工程で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断工程と、

前記判断工程で代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理工程とを前記情報処理装置に実行させ、

前記設定工程で設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断工程は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な印刷制御プログラム。

【請求項 1 7】 前記設定工程は、プリンタドライバにより生成される印刷ジョブを入力して管理する物理プリンタ管理部に対して前記代行条件を設定し、前記代行処理工程は、前記物理プリンタ管理部に設定され且つ前記物理プリンタ管理部に入力される印刷ジョブに関連付けられた代行条件を管理することを特徴とする請求項 1 6 記載の印刷制御プログラム。

【請求項 1 8】 前記代行処理工程は、前記プリンタドライバに対応する印刷装置と同じ機種 of 印刷装置に代行印刷すべく印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 1 7 記載の印刷制御プログラム。

【請求項 1 9】 アプリケーションが出力する描画命令に基づいて印刷装置に依存しない汎用ドキュメントデータを含む汎用印刷ファイルを生成する生成工程を更に含み、

前記設定工程は、前記生成工程により生成される汎用印刷ファイルを入力して管理する論理プリンタ管理部に対して前記代行条件を設定するものであり、前記代行処理工程は、

前記論理プリンタ管理部に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理部に設定された代行条件を管理することを特徴とする請求項 1 6 記載の印刷制御プログラム。

【請求項 2 0】 前記代行処理工程は、最初に出先として指定される印刷装置とは依存関係のない複数の印刷装置のいずれかに代行印刷すべく前記汎用印刷ファイルの印刷ジョブを発行することを特徴とする請求項 1 9 記載の印刷制御プログラム。

【請求項 2 1】 前記代行処理工程は、代行印刷を行う場合に、論理プリンタ管理部に管理されている汎用印刷ファイルに基づいて代行出力先のプリンタドライバに対して描画命令の出力を行うことを特徴とする請求項 2 0 記載の印刷制御プログラム。

【請求項 2 2】 前記設定工程は、前記論理プリンタ管理部に設定される代行条件として、自動で代行処理を行う自動代行条件と、自動で代行処理を行わずユーザからの指示に応じて代行処理を行う手動代行条件とを設定するものであり、前記代行処理工程は、前記論理プリンタ管理部に入力される汎用印刷ファイルの印刷ジョブに対応付けて、前記論理プリンタ管理部に設定された自動代行条件と手動代行条件とを管理することを特徴とする請求項 1 9 乃至 2 1 のいずれかに記載の印刷制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置において、前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定手段と、前記設定手段で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断手段と、前記判断手段により代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理手段とを備え、前記設定手段により設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断手段は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明の印刷システムは、複数の印刷装置と、該印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置を含む印刷システムにおいて、前記情報処理装置に、前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定手段と、前記設定手段で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断手段と、前記判断手段により代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理手段とを備え、前記設定手段により設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断手段は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明の印刷制御方法は、印刷装置で印刷すべき印刷ジョブを生成する情報処理装置の印刷制御方法であって、前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定工程と、前記設定工程で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断工程と、前記判断工程で代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理工程とを含み、前記設定工程で設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断工程は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

本発明のコンピュータ読み取り可能な印刷制御プログラムは、印刷装置で印刷すべき印

刷ジョブを生成する情報処理装置で実行可能な印刷制御プログラムであって、前記印刷装置における印刷を行わせない条件としての代行条件を設定する設定工程と、前記設定工程で設定された代行条件と前記印刷装置の状態とに応じて、前記印刷装置とは異なる第二の印刷装置で代行印刷すべきかを判断する判断工程と、前記判断工程で代行印刷すべきであると判断された場合に、前記第二の印刷装置で代行印刷すべく印刷ジョブを発行する代行処理工程とを前記情報処理装置に実行させ、前記設定工程で設定された代行条件を、印刷ジョブに関係付けて管理しておき、前記判断工程は、前記印刷ジョブに関連付けられている代行条件に基づいて、代行印刷すべきかを判断することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0204

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0204】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、代行されて出力先の印刷装置が変わっても一貫した条件で代行処理を行うことが可能となり、ユーザが望む代行結果を得ることができる。